

国内電信級陸上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法 規 12問 30分

法 規 (1)

〔1〕 次に掲げる事項のうち、固定局の免許状に記載される事項に該当しないものは、次のどれか。

1. 免許人の氏名又は名称及び住所
2. 無線局の目的
3. 空中線の型式及び構成
4. 通信の相手方及び通信事項

〔2〕 次の記述は、電波法に規定する「無線従事者」の定義である。□内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「無線従事者」とは、□であって、総務大臣の免許を受けたものをいう。

1. 無線設備の操作又はその監督を行う者
2. 無線局に配置された者
3. 無線局を管理する者
4. 無線局を運用する者

〔3〕 免許人が電波法、放送法若しくはこれらの法律に基づく命令又はこれらに基づく処分に違反したとき、電波法の規定により総務大臣が当該無線局に対して行うことがある処分を次のうちから選べ。

1. 期間を定めた空中線電力の制限
2. 期間を定めた電波の型式の制限
3. 再免許の拒否
4. 期間を定めた通信の相手方又は通信事項の制限

〔4〕 総務大臣から臨時に電波の発射の停止の命令を受けた無線局が、その発射する電波の質を総務省令に適合するように措置したときは、どうするか、正しいものを次のうちから選べ。

1. その旨を総務大臣に届け出て、電波の発射を開始する。
2. 直ちにその電波を発射する。
3. その旨を総務大臣に申し出る。
4. 他の無線局の通信に混信を与えないように確かめた後、電波を発射する。

〔5〕 固定局の免許状は、掲示を困難とする場合を除き、次のどの箇所に掲げておかなければならないか。

1. 無線局のある事務所の見やすい箇所
2. 主たる送信装置のある場所の見やすい箇所
3. 受信装置のある場所の見やすい箇所
4. 通信室内の見やすい箇所

〔6〕 次の記述は、業務書類の備付けに関する電波法の規定である。□内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「無線局には、正確な時計及び□、無線業務日誌その他総務省令で定める書類を備え付けておかなければならない。」

1. 無線局事項書
2. 免許人の氏名又は名称を証する書類
3. 免許証
4. 無線検査簿

国内電信級陸上特殊無線技士試験問題

法 規 (2)

〔7〕 次の記述は、秘密の保護に関する電波法の規定である。□□ 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「何人も法律に別段の定めがある場合を除くほか、□□ に対して行われる無線通信を傍受してその存在若しくは内容を漏らし、又はこれを窃用してはならない。」

1. 特定の相手方
2. すべての相手方
3. すべての無線局
4. 不特定の相手方

〔8〕 無線局において、「OSO」を前置した呼出しを受信した場合は、応答する場合を除き、次のどれによらなければならないか。

1. 直ちに付近の無線局に通報する。
2. すべての電波の発射を停止する。
3. 直ちに非常災害対策本部に通知する。
4. 混信を与えるおそれのある電波の発射を停止して傍受する。

〔9〕 次の記述は、無線局の運用に関する電波法の規定である。□□ 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「無線局は、遭難通信等法令で定める通信を除き免許状に記載された目的又は □□ 若しくは通信事項の範囲を超えて運用してはならない。」

1. 空中線の型式
2. 通信の相手方
3. 無線局の種別
4. 通信の方式

〔10〕 無線電信通信において、呼出しに使用した電波と同一の電波により通報を送信する場合、順次送信する事項のうち省略することができるのは、次のどれか。

- | | |
|-----------------|-----|
| 1. 相手局の呼出符号 | 1 回 |
| 2. (1) 相手局の呼出符号 | 1 回 |
| (2) DE | 1 回 |
| 3. (1) 相手局の呼出符号 | 1 回 |
| (2) DE | 1 回 |
| (3) 自局の呼出符号 | 1 回 |
| 4. (1) DE | 1 回 |
| (2) 自局の呼出符号 | 1 回 |

〔11〕 非常通信の取扱いを開始した後、有線通信の状態が復旧した場合は、次のどれによらなければならないか。

1. なるべくその取扱いを停止する。
2. 非常の事態に応じて適当な措置をとる。
3. 速やかにその取扱いを停止する。
4. 現に有する通報を送信した後、その取扱いを停止する。

〔12〕 無線電信通信において、応答に際して直ちに通報を受信しようとするとき、応答事項の次に送信する略符号は、次のどれか。

1. K
2. R
3. OK
4. RPT